

5年 図書館を使いこなそう

光村図書出版 国語五 32・33 ページ掲載

読書教材「本は友達」。4月中旬に1時間で行う。

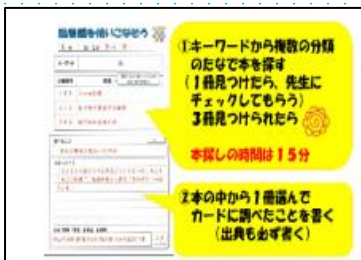
図書館の本の分類のしかたを理解することで、一つのキーワードでも複数の分類のたなから関連する本を見つけることができ、本選びの幅が広がることを知る。今後の教科の調べの活動に活かせる教材。

授業の流れ(1時間)

①教科書の流れに添ってパワーポイントで説明
(分類説明:7分 ワークシートの進め方:5分)

②キーワードから複数の分類の本を探し、分類と書名を記録(15分)

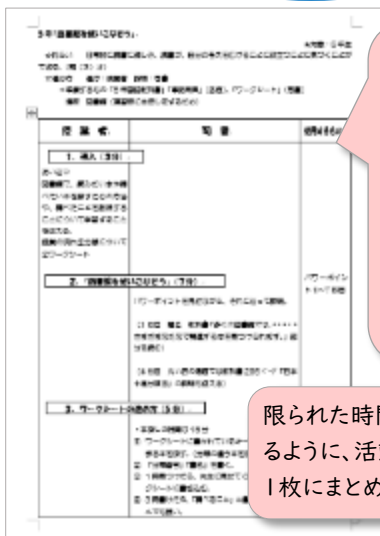
③探した本から1冊選び調べること・わかったこと・出典を書く(10分)



本を探し、調べたことを書くという活動の流れが、押さえられるように記載例と流れがわかるシートをパワーポイントの最後につけた。このシートを活動中に表示しておくとうかりやすい。



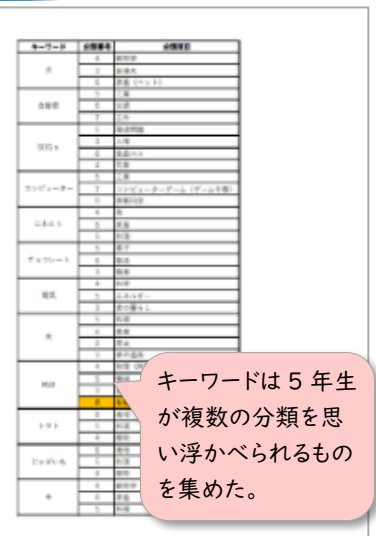
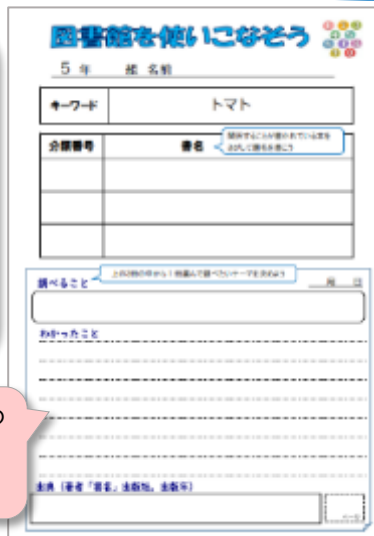
シナリオ



授業者との打ち合わせ時にイメージしやすいように、それぞれ欄を設けた。また、時間内に全員が調べて分かったことまで書けるように、無駄がない流れを考えた。

限られた時間でスムーズに取り組めるように、活動1と2のワークシートを1枚にまとめた。

ワークシート・キーワード一覧



キーワードは5年生が複数の分類を思い浮かべられるものを集めた。

実践してみて

- ・分類について意識したり考えたりする良い機会になった。思った以上に多くの分類に興味関心を向ける児童が増えたようで、授業後に分類を気にしながら本を借りている子もいた。
- ・グループ研究では考えていなかった分類から本を探せるペアもいた。難しいと思っていたキーワードも司書が想定していなかった分類から探せている姿も見られた。
- ・キーワードから本を探すということで、どの子も楽しく、意欲的に取り組んでいたようだ。
- ・本の背表紙のラベルが古くなり、見えにくくなっているものなどもあり、見つけた本の分類番号がわからないことがあった為、整備が必要だった。

